



秘

第一款 市吏員ノ組織及選任

第四章 市行政

第二款 職務權限及處務規程

第一款 組織及選舉

第三款 市參事會

第二款 職務權限及處務規程

第一款 組織及選舉

第二章 市會

第三款 市條例及市規則

第二款 市住民及其ノ權利義務

第一款 市及其ノ區域

第一章 總則

市制

大正
四年
四月



第二款 市吏員ノ職務權限及處務規程

第三款 給料及給與

第五章 市ノ財務

第一款 市有財産營造物及市稅

第二款 市ノ歲入出豫算及決算

第六章 市内一部ノ行政

第七章 市町村組合

第八章 市行政ノ監督

第九章 附則

市制

第一章 總則

第一款 市及其ノ區域

第一條 此ノ法律ハ市街地ニシテ郡ノ區域ニ屬セズ別ニ市ト爲スノ地ニ施行スルモノトス (オニ令)

第二條 市ハ法人トシ官ノ監督ヲ受ケ法律命令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務竝法律命令又ハ慣例ニ依リ市ニ屬スル事務ヲ處理スルモノトス (オニ令)

第三條 市ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セズ但シ將來其ノ變更ヲ要スルコトアルトキハ此ノ法律ニ準據スヘシ (オニ令)

第四條 市ヲ變シテ町村ト爲スコトヲ要スルトキハ府縣知事ハ關係アル市會郡參事會及府縣參事會ノ意見ヲ聞キ内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム (新法)

第五條 町村ヲ市ニ合併シ又ハ市ノ區域ヲ分割シ又ハ市ノ境界變更ヲ要スルトキハ町村制第五條ヲ適用ス所屬未定地ヲ市ノ區域ニ編入スルコトヲ

要スルトキ亦同シ

第六條 市ノ境界ニ關スル爭論ハ府縣參事會之ヲ裁決ス其ノ府縣參事會

裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

市ノ境界判明ナラサル場合ニ於テ前項ニ依リ爭論ヲ提起スル者ナキトキ

ハ府縣知事ハ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會ノ議

決ヲ經テ之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコト

ヲ得

第二款 市住民及其ノ權利義務

第七條 市内ニ住居ヲ占ムル者ハ市住民トス

市住民ハ此ノ法律ニ從ヒ市有財產並營造物ヲ共用スルノ權利ヲ有シ及市

ノ負擔ヲ分任スルノ義務ヲ有スルモノトス但シ特ニ民法上ノ權利義務ヲ

有スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子二年以來(一)市ノ住民ト

トス

才七多市、若任リ変更シ又ト市
後所ノ住所ヲ定メテ其ノ住所ニ
ルコトヲ要スルトキハ府縣知事ハ
市會ノ承認ニ依リ之ヲ決定ス
市會ノ承認ヲ得テ之ヲ定ムルハ
東京市、京都市、大阪市、
區ノ名稱ヲ變更シ又ト區
區ノ名稱ヲ變更シ又ト區

所ノ住所ヲ定メテ其ノ住所ニ
コトヲ要スルトキハ府縣知事ハ
依

爲リ(一)市ノ負擔ヲ分任シ及(二)市内ニ於テ地租ヲ納メ若シハ直接國稅

年額二圓以上ヲ納ムル者ハ市公民トス但シ公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタ

ル後二年ヲ經サル者ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 市會ノ議決ヲ經テ市會ノ議決ヲ經府縣知事

ノ許可ヲ得テ之ヲ特免スルコトヲ得

家督ニ依リ財產ヲ相續シタル者ハ其ノ財產ニ付前財產主ノ納稅額ヲ以テ

其ノ者ノ納稅資格ニ算入ス

市公民ノ資格要件中其ノ年限ニ關スルモノハ市町村ノ廢置分合若シハ境

界變更處分ノ爲ニ中斷セラルルコトナシ

此ノ法律ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歲以上ニシテ獨立ノ生計ヲ營ミ

且治産ノ禁ヲ受ケサルモノヲ云フ

第十條 市公民ハ市ノ選舉ニ參與シ市ノ名譽職ニ選舉セラルルノ權利ヲ有

シ及市ノ名譽職ヲ擔任スルノ義務ヲ有スルモノトス

左ニ掲クル者ニ非サレハ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルコトヲ得ス (字(三)ニ據)

一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者

二 業務ノ爲ニ常ニ市内ニ居ルコトヲ得サル者

三 年齢滿六十歳以上ノ者

四 官職ノ爲ニ市ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五 四年間無給ニシテ市吏員ノ職ニ任シ爾後四年ヲ經過セサル者及六年

間市會議員ノ職ニ居リ爾後六年ヲ經過セサル者

六 其ノ他市會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ニ該當セサル者ニシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ又ハ無任期 (字(三)ニ據)

職務ヲ少クトモ三年間擔當セズ又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサル者ハ

市會ノ議決ヲ經テ六年以内市公民タルノ權ヲ停止シ場合ニ依リ其ノ停止

年期以内他ノ住民ノ負擔スヘキ市稅ノ率ニ比シ四分ノ一以下ヲ増課スル

コトヲ得

十分ノ一以上

前項ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ (字(三)ニ據) 不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條第三項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス (新設)

第十條 市公民タル者第九條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其ノ公民タ (第九條(一)項)

ルノ權ヲ失フキトス

市公民タル者公權停止中又ハ租稅滯納處分中ハ其ノ公民タルノ權ヲ停止 (字(三)ニ據)

ス家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケキルトキハ其ノ宣告取消サレ若クハ

復權ノ決定確定スルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ

爲公判ニ付セラレタルトキハ其ノ裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ市ノ公務ニ參與セサルモノトス現役以外ノ兵 (字(三)ニ據)

役ニ在ル者ニシテ戰時若ハ事變ニ際シ召集セラレタルトキ亦同シ

市公民タル者ニ限リテ任スヘキ職務ニ在ル者ニシテ本條第一項乃至第三 (字(三)ニ據)

項及第九條第三項ノ場合ニ當ルトキハ自ラ解職スルモノトス職ニ就キタ

ル爲公民タルノ權ヲ得ヘキ職務ニ在ル者ニシテ本條第二項第三項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ

前項ノ職務ニ在ル者ニシテ公權劍奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲豫審ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止シ有給吏員ニ對シテハ併セテ給料ヲ支給ヲ停止スルコトヲ得

第三款 市條例及市規則

第十條 市ハ市住民ノ權利義務及市ノ事務ニ關シ此ノ法律中明文ナク又

條例ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ付 條例ヲ設クルコトヲ得

市ハ市有財産及營造物ニ關スル事項ニ付規則ヲ設クルコトヲ得

市條例及市規則ハ法律命令ニ抵觸スルコトヲ得ス

市條例及市規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ發布スヘシ

第二章 市會

第一款 組織及選舉

第十二條 市會議員ハ市ノ選舉人其ノ被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス

市會議員ノ定員ハ人口五萬未滿ノ市ニ於テハ三十人人口五萬以上ノ市ニ

於テハ三十六人トシ人口十萬以上ノ市ニ於テハ人口五萬ヲ加フル毎二人

口二十萬以上ノ市ニ於テハ人口十萬ヲ加フル毎ニ議員三人ヲ増シ六十人

ヲ定限トス

市會議員ノ定員ハ市條例ヲ以テ特之ヲ増減スルコトヲ得但シ定限ヲ超

ユルコトヲ得ス

第十三條 市公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者及第十條第三

項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ直接市稅ヲ納ムル者其ノ額市公民ノ最多ク納

稅スル者三名中ノ一名ヨリモ多キトキハ第八條ノ要件ニ當ラスト雖選舉

權ヲ有ス但シ第十條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ

當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ

第十四條 選舉人ハ分テ三級ト爲ス

選舉人中直接市税ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ一級トス

一級選舉人ヲ除ク外直接市税ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ二級トシ爾餘ノ選舉人ヲ三級トス

各級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アルトキハ其ノ市内ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ

上級ニ入ル若住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年長者ヲ以テシ年齢ニモ依リ難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

選舉人每級各別ニ議員ノ三分ノ一ヲ選舉ス但シ選舉區ヲ設ケタル場合ニ於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

於テ議員ノ數三分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十五條第二項ノ市條例

難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

○
東京市、京都府、大阪府、神戸市、名古屋市の各府市に於ては、市税の納額を以て選挙区を定むるに依り、選挙区を設くるに妨げなし。

之ヲ規定スヘシ

被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラス各級ニ通シテ選舉セラルルコトヲ得

直接市税ヲ賦課セサル市ニ在テハ本條ノ納稅額ハ選舉人ノ市内ニ於テ納

ムル直接國稅額ニ依ルヘシ

第十五條 市ハ市條例ヲ以テ選舉區ヲ設クルコトヲ得但シ特キ二級若クハ

三級選舉ノ爲之ヲ設クルモ妨ケナシ

選舉區ノ數及其ノ區域竝各選舉區ヨリ選出スル議員ノ員數ハ市條例ヲ以

テ主トシテ選舉人ノ員數ニ準シ之ヲ定ムヘシ

選舉人ハ住居ノ地ニ依テ所屬ノ選舉區ヲ定ム其ノ市内ニ住居ナキ者ハ直

接市税ノ賦課ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若數選舉區ニ涉リ賦

課ヲ受ケタル物件アルトキハ稅額ノ最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム又

直接市税ノ賦課ヲ受ケタル物件ナキハ滞在ノ地ニ依テ之ヲ定ムヘシ

但シ本文ノ場合ニ於テ稅額ノ相同キトキハ又ハ數選舉區ニ涉リ住居ニ若ク

ハ滞在スルトキハ本人ノ申出ニ依テ之ヲ定ムヘシ

選舉區ヲ設クルトキハ其ノ選舉區ニ於テ選舉人ノ等級ヲ分ツヘシ

被選舉人ハ其ノ選舉區内ノ者ニ限ラサルモノトス

第十六條 選舉權ヲ有スル市公民ハ總テ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ失ハル後一箇月ヲ任返セザル者非同レ

一 所屬府縣ノ官吏及有給吏員

二 其ノ市ノ有給吏員

三 檢事警察官吏及收稅官吏

四 神官僧侶其ノ他諸宗教師

五 小學校教員

六 直接間接ヲ問ハズ其ノ市ニ屬スル事業ノ請負ヲ爲ス者

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

父子兄弟ノ縁故アル者ハ同時ニ市會議員タルコトヲ得ス其ノ同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其ノ多キ者一人ヲ當選トシ若同數ナレハ年長者ヲ當選トス其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス

市長又ハ助役トノ間父子兄弟ノ縁故アル者ハ之ト同時ニ市會議員タルコトヲ得ス若議員トノ間ニ其ノ縁故アル者市長又ハ助役ノ任ヲ受クルトキハ其ノ縁故アル議員ハ其ノ職ヲ退クヘシ

第十七條 市會議員ハ名譽職トス

市會議員ノ任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其ノ半數ヲ改選ス若各級ノ

議員二分シ難キトキハ先ツ多數ノ一半ヲ解任セシム

定期改選ニ際シ又ハ議員ノ定數ニ異動ヲ生シ又ハ選舉區ヲ變更シ若ハ各選舉區ヨリ選出スヘキ議員ノ員數ヲ變更シタル爲解任ヲ要スル者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生シ又ハ選舉區ヲ變更シ若クハ各選舉區ヨリ選出ス
ヘキ議員ノ員數ヲ變更シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ次回ノ改選期
又ハ其ノ次ノ改選期マテ在職スルモノトス其ノ次ノ改選期又ハ其ノ次
ノ改選期ニ於テ解任スヘキ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
退任者ハ再選セララルコトヲ得

第十八條 市會議員中議員アルトキハ每三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補
闕選舉ヲ行フヘシ若定員二分ノ一以上議員アルトキ又ハ市會、市長若
ハ府縣知事ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ定期改選前ト雖補闕選
舉ヲ行フヘシ

補闕員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス
定期改選及補闕選舉ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級及選舉區ニ從テ
之ヲ選舉ヲ行フヘシ

第十九條 市長ハ選舉ヲ行フ毎々其ノ選舉前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在

ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉原簿ヲ調製シ此ノ原簿ニ依リ選舉人
名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉區ヲ設クルトキハ每區各別ニ原簿及名簿ヲ調
製スヘシ

東京市、京都府、大阪府、神戸市、札幌市、仙台市、青森市、秋田市、山形市、福島市、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長門県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

選舉人名簿ハ其ノ選舉前五十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間市役所又ハ其
ノ他ノ場所ニ於テ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキ
ハ縦覽期限内ニ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市長ハ其
ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ市參事會ノ決定ニ付スヘシ市參事會
ハ其ノ回付ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項市參事會ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會
ノ判決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得市長ニ於テ不服アル
トキ亦同シ

市長ハ第三項異議ノ決定ニ依リ又ハ第三項訴願ノ裁決確定シ若クハ訴訟
ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ五日前五日修正ヲ加

○ヘテ確定名簿ト爲シ之ニ登録セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人ノ名簿ニ記載スル者ハ此ノ限ニ在ラズ
 ○本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ選舉ヲ行フトキモ亦之ヲ適用スルコトヲ得但シ名簿確定後訴願ノ裁決若シハ訴訟ノ判決ニ依リ修正ヲ要スルトキハ選舉人ヨリ五日^前ニ修正スヘキモノトス

○選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告スヘシ
 ○確定名簿ニ登録セラレタル者キシテ選舉人ノ資格ヲキコトヲ發見シ若クハ其ノ資格ヲ失フモノアルモ名簿ヲ修正スルニ限ニ在ラス但シ選舉人ノ資格ナキ者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ
 ○異議ノ決定若シハ訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿ノ無効ト爲リタルトキハ前名簿ニ記載スヘキ選舉人ノ資格ニ依リ新ニ名簿ヲ調製スヘキモノトス其ノ名簿調製ノ期日及縦覽修正ニ關スル期限等

ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル但シ名簿調製ノ期日マテニ選舉人ノ資格ヲ失ヒタル者ハ名簿ニ登録スルノ限ニ在ラズ
 ○本條ニ規定シタル選舉原簿調製期日及名簿縦覽開始ノ期日ハ市條例ヲ以テ之ヲ伸縮スルコトヲ得

第二十条 選舉ヲ行フトキハ市長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前ニ選舉ノ場所日時及每區每級ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ヲ告示スヘシ
 ○各級ニ於テ選舉ヲ行フ順序ハ先ツ三級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ
 第二十一条 市長ハ臨時ニ選舉人中ヨリ二名乃至四名ノ選舉掛ヲ選任シ市長若シハ其ノ委任ヲ受ケタル代理者ハ選舉掛長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス但シ選舉區ヲ設クルトキハ每區各別ニ選舉掛ヲ設クヘシ

選舉掛ハ名譽職トス

第二十二條 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉事務ニ管理ニ關係アル職務又ハ會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者ハ此ノ限ニ在ラス

選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第二十三條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ハ選舉會場ニ於テ被選舉人ノ氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ選舉掛長ニ差出スヘシ但シ選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ選舉掛長ニ申立テ選舉掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ但シ投票函ハ投票ヲ終ルマテ之ヲ開クコトヲ得ス

投票用紙ハ一定ノ式ヲ用ユルコトヲ得

選舉區ヲ設ケタル場合ニ於テ選舉人名簿ノ縦覽期限後選舉人ノ所屬選舉區ヲ定ムル要件ニ異動ヲ生スルコトアルモ其ノ選舉人ハ前所屬ノ選舉區

ニ於テ選舉ヲ行フヘシ

第二十四條 第十三條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得其ノ獨立ノ男子ニ非サル者及法人ハ必ス代人ヲ以テスヘシ

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且公權停止中ニ非サル獨立ノ男子ニ限ル但シ一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示スヘシ但シ法律上ノ代人ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 投票ニ記載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ニ過キ又ハ不足アルモ其ノ投票ヲ無効トセス其ノ定數ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタルモノヲ順次ニ棄却スヘシ

左ノ投票ハ之ヲ無効トス但シ連名投票ニシテ第二號乃至第四號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

十一 人名ヲ記載セサルモノ

十二 記載シタル人名ノ讀ミ難キモノ

十三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

十四 被選舉權ナキ者ノ人名ヲ記載スルモノ

十五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ

敬稱ノ類ヲ記入スルモノハ此ノ限ニ在ラス

十六 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用非サルモノ

第十七 投票ノ受理並効力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數

ナルトキハ選舉掛長之ヲ決スヘシ

第十八 市會議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス

投票ノ數相同キトキハ八年長者ヲ取り同年月ナルトキハ選舉掛長抽籤シテ

其ノ當選者ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ

前任者ノ補闕ト爲シ投票ノ數相同キトキハ選舉掛長抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム

第二十八條 選舉掛長ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記錄シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉掛二名以上ト共ニ之ニ署名捺印シ選舉人名簿其ノ他關係書類ト共ニ少クとも六年間之ヲ保存スヘシ

投票ハ選舉ノ効力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ

第二十九條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉掛長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ

知スヘシ

當選者ニシテ當選ヲ辭セントスル者ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日

以內ニ之ヲ市長ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數級若シテ數區ノ選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ

受ケタル日ヨリ五日以內ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ市長ニ申立ツヘシ

其ノ期限内ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其ノ當選ヲ辭シタル者ト看做ス

シ其ノ事ノ輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ズルモハ此ノ限ニ在ラ

ス
當選者ニシテ資格要件ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第三十四條

選舉若シハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

第三十五條

市會議員ニシテ資格要件ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失

フモノトシ其ノ要件ノ有無ハ市參事會之ヲ決定ス

市會ニ於テ其ノ議員中資格要件ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ市

長ニ通知スヘシ但シ議員ハ自身ノ資格ニ關スル會議ニ於テ辯明スルコト

ヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

市長ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ市參事會ノ決定ニ付スヘシ市長

ニ於テ資格要件ヲ有セサル者アリト認ムルトキ亦同シ

本條市參事會ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會

ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得市長ニ於テ不服ア

但シ得票ニ異動アリハ更ニ選舉ノ行フヘシ
但シ得票ニ異動アリハ更ニ選舉ノ行フヘシ
但シ得票ニ異動アリハ更ニ選舉ノ行フヘシ

第三十五條 本條ニ規定スル選舉ノ
決定及作爲ノ裁決ニ其ノ決定主
張ハ裁決主リニ又付シタルトキハ
直ニ之ヲ告スヘシ

ルトキ亦同シ

市會議員ハ其ノ資格要件ヲ有セストスル決定若シハ裁決確定シ又ハ判決

アルマテ會議ニ列席シ及發言スルノ權ヲ失ハス

第二款 職務權限及處務規程

第三十六條 市會ハ此ノ法律ニ從ヒ市ニ關スル事件竝法律命令ニ依リ市會

ノ職權ニ屬スル事件ヲ議決スルモノトス

第三十七條 市會ノ議決ヲ經ヘキ事件ノ概目左ノ如シ

一 市條例及市規則ヲ設定スル事

二 市費ヲ以テ支辨スヘキ事業但シ法律命令中別段ノ規程アルモノハ此

ノ限ニ在ラス

三 歳入出豫算ヲ定ムル事

四 決算報告ヲ認定スル事

五 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料、手数料、加入金、市税及夫役現

- 品ノ賦課徴收ノ方法ヲ定ムル事
- 六 市有不動産ノ賣買交換讓受讓渡並賃入書入ヲ爲ス事
- 七 基本財産及積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
- 八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事
- 九 市有財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律命令中別段ノ規程アルモノハ此ノ限ニ在ラス

十 市ニ係ル訴願、訴訟及和解ニ關スル事

第三十八條 市會ハ其ノ職權ニ屬スル事項ヲ市參事會ニ委任スルコトヲ得

第三十九條 市會ハ法律命令ニ依リ其ノ職權ニ屬スル選舉ヲ行フヘシ

第四十條 市會ハ市ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ市長ノ報告ヲ

請求シテ事務ノ管理、議決ノ施行並收入支出ノ正否ヲ檢査スルコトヲ得
 市會ハ前項ノ目的ヲ爲シ五名以下ノ委員ヲ議員中ヨリ選舉シ市長又ハ其

ノ指命シタル市吏員立會ニ上關係書類並金庫ヲ檢閲セシムルコトヲ得

第四十一條 市會ハ市ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ監督官廳ニ呈出スルコトヲ得

第四十二條 市會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

法律命令ノ規程ニ依リ市會ノ意見ヲ徵スヘキ場合ニ於テ市會成立セス又ハ意見ヲ呈出セサルトキハ當該官廳ハ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十三條 市會議員ハ選舉人ノ指示若シハ委囑ヲ受クヘカラサルモノトス

第四十四條 市會ハ議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選舉スヘシ

議長副議長ハ議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ

第四十五條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ假議長ヲ選舉スヘシ

第四十六條 市長及其ノ委任若シハ囑託ヲ受ケタル官吏、吏員ハ會議ニ列

席シテ議事ニ關シ辯明スルコトヲ得但シ該法ハ其ノコトヲ得

第四十七條 市會ハ市長之ヲ招集ス若議員四分ノ一以上ヨリ請求アル場合

於テ相當ノ理由アリト認ムレトキハ市長ハ市會ヲ招集スヘシ

市長ハ必要アル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ市會ヲ招集スルコトヲ得

招集並會議ノ事件ハ開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ告知スヘシ但シ急施

ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

市會ハ市長之ヲ開閉ス

第四十八條 市會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコ

トヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ至リ議員仍半數ニ滿タサルモ議

長及議員五名以上出席シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條 市會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決

スル所ニ依ル

第五十條 議長及議員ハ自己若ハ其ノ父母妻子兄弟姊妹ノ一身上ニ關

スル事件ニ付テハ市會ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコト
ヲ得ス

前項除席ノ爲議員ノ數減少シテ會議ヲ開クノ定數ニ滿タサルモ議長及議
員五名以上出席シタルトキハ仍會議ヲ開クコトヲ得

第五十一條 法律命令ノ規程ニ依リ市會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一名毎ニ

匿名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若過半數ヲ

得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取り之ニ就テ決選投票セシ

ム其ノ二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取り同年月ナレハ議

長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選

トシ若同數ナレハ年長者ヲ取り同年月ナレハ抽籤ヲ以テ當選者ヲ定ム其

ノ他ハ第二十三條第二十五條第二十六條ヲ準用ス

前項ノ選舉ニハ市會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選若ハ連名投票ノ法ヲ用
ユルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ユル場合ニ於テハ前項ノ例ヲ準用ス

第五十二條 市會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 市長ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二 議長若シハ議員三名以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長若シハ議員ノ發議ハ討論ヲ用井ス其ノ可否ヲ決スヘシ

第五十三條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開

閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十四條 市會議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用井又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論

スルコトヲ得ス

第五十五條 會議中此ノ法律若シハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊

ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若シハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサ

ルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去

セシムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉

ツルコトヲ得

第五十六條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲

ス者アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシムル

コトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシムルコトヲ得

第五十七條 市會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第五十八條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ製シ會議ノ顛末竝出席議員ノ氏名

ヲ記録セシムヘシ會議録ハ議長及議員二名以上之ニ署名捺印スルヲ要ス

其ノ議員ハ市會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ市長ニ報告スヘシ

第五十九條 市會ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設

クヘシ其會議規則ニハ此ノ法律竝會議規則ニ違背シタル議員ニ對シ市

告事

四 市會ノ議決シタル範圍内ニ於テ市有財産及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五 市會ノ議決シタル範圍内ニ於テ市費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

六 市吏員ノ身元保證ヲ徵シ並其ノ額ヲ定ムル事

七 其ノ他法律命令ニ依リ市參事會ノ權限ニ屬スル事項

第六十四條 第四十一條及第四十二條ノ規程ハ市參事會ニモ亦之ヲ準用ス

第六十五條 市參事會ハ市長之ヲ招集ス若名譽職參事會員半數以上ヨリ請

求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ市長ハ市參事會ヲ招集

スヘシ

市長ハ必要アル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ市參事會ヲ招集スルコトヲ得

第六十六條 市參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第六十七條 市參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員定員ノ半數

以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

市參事會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可非同數ナルトキハ議長ノ決スル所

ニ依ル

會議ノ顛末ハ之ヲ會議録ニ記載シ議長及參事會員二名以上之ニ署名捺印

スヘシ

第六十八條 第五十條第一項ノ規程ハ市參事會員ニモ亦之ヲ準用ス但シ同

條ノ規程ニ依リ會員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ市長ハ

市會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指名シ其ノ副員ヲ補充

議長代理者共ニ除席セラレタルトキハ年長ノ會員ヲ以テ假議長ト爲スヘ

シ

第四章 市行政

第一款 市吏員ノ組織及選任

○即後ノ定員ニ市會何ノ以テ
之リ増加スルコトヲ得

第六十九條 市ニ市長及助役各一名ヲ置ク但シ市條例ヲ以テ助役ノ定員ヲ
増加スルコトヲ得

第七十條 市長ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ六年トス

内務大臣ハ市會ヲシテ市長候補者三名ヲ推薦セシメ上奏裁可ヲ請フヘシ
若其ノ裁可ヲ得サルトキハ更ニ推薦ヲ爲サシムヘシ

第七十一條 助役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ六年トス

助役ハ市會之ヲ選舉シ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ若其ノ認可ヲ得サルト

キハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

助役ノ不認可ニ對シ市ニ於テ不服アルトキハ内務大臣ニ具申シテ更ニ認
可ヲ請フコトヲ得

第七十二條 市長及助役ハ市公民タル者ニ限ラス但シ其ノ任ヲ受クルトキ

ハ在職ノ間市公民タルノ權ヲ得

第七十三條 市長及助役ハ第十六條第二項ニ掲載スル職ト相兼ヌルコトヲ

○市長及助役ハ市公民タル者ニ限ラス但シ其ノ任ヲ受クルトキハ在職ノ間市公民タルノ權ヲ得
○市長及助役ハ市公民タル者ニ限ラス但シ其ノ任ヲ受クルトキハ在職ノ間市公民タルノ權ヲ得
○市長及助役ハ市公民タル者ニ限ラス但シ其ノ任ヲ受クルトキハ在職ノ間市公民タルノ權ヲ得

得ス又オニア行爲ツ爲スコトヲ得

父子兄弟ノ縁故アル者ハ同時ニ市長及助役タルコトヲ得ス若其ノ縁故アル者助役ノ選舉ニ當リタルトキハ其ノ當選ヲ取消シ市長ノ任ヲ受クルト

キハ其ノ縁故アル助役ハ其ノ職ヲ退クヘシ助役數名アル場合ハ第十六條

第四項ヲ準用ス

市長及助役ハ三箇月前ニ申立ツルトキハ隨時退職ヲ求ムルコトヲ得但シ

退職申立後三箇月ニ滿タスト雖後任者裁可又ハ認可ヲ得タルトキハ其ノ

口ヲ以テ退職者トス

第七十四條 市長及助役ハ他ノ給料アル職務ヲ兼任シ又ハ會社ノ役員ト爲

ルコトヲ得ス其ノ他營業ハ府縣知事ノ認許ヲ得ルニ非サレハ之ヲ爲スコ

トヲ得ス

第七十五條 市ニ收入役及收入役代理者各一名ヲ置ク但シ市條例ヲ以テ收

入役代理者ノ定員ヲ増加スルコトヲ得

○市長及助役ハ市公民タル者ニ限ラス但シ其ノ任ヲ受クルトキハ在職ノ間市公民タルノ權ヲ得
○市長及助役ハ市公民タル者ニ限ラス但シ其ノ任ヲ受クルトキハ在職ノ間市公民タルノ權ヲ得
○市長及助役ハ市公民タル者ニ限ラス但シ其ノ任ヲ受クルトキハ在職ノ間市公民タルノ權ヲ得

收入役及收入役代理者ハ市長ノ推薦ニ依リ市會之ヲ選定シ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

收入役及收入役代理者ニ關シテハ第七十一條第七十二條及第七十三條ノ規程ヲ準用ス

第七十七條 市ニ書記其ノ他必要ノ吏員ヲ置キ有給トシ市長之ヲ任免ス

前項吏員ノ定員ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第七十七條 市ハ處務便宜ノ爲市會ノ議決ヲ經テ之ヲ數區ニ分チ每區區長

及區長代理者各一名ヲ置クコトヲ得

區長及區長代理者ハ各譽職トス

區長及區長代理者ハ市會ニ於テ市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉

ス區會ノ設ケアル區ニ於テハ其ノ區會ニ於テ之ヲ選舉スヘシ

市ノ情況ニ依リ市條例ノ規程ヲ以テ區長又ハ區長代理者ニ給料ヲ給スル

コトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ第七十二條ノ規程ヲ準用ス

オセチオセチ 市長ノ推薦ニ依リ市會ニ於テ市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉スヘシ
オセチオセチ 市長ノ推薦ニ依リ市會ニ於テ市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉スヘシ
オセチオセチ 市長ノ推薦ニ依リ市會ニ於テ市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉スヘシ

オセチオセチ 市長ノ推薦ニ依リ市會ニ於テ市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉スヘシ

オセチオセチ 市長ノ推薦ニ依リ市會ニ於テ市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉スヘシ

第八十二條 市ハ市會ノ議決ヲ經テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ各譽職トス

委員ハ市會議員又ハ市公民中選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充テ又ハ市會

議員ト市公民中選舉權ヲ有スル者トヲ以テ之ヲ組織ス

委員ヲ合議體ニ組織シタル場合ニ於テハ市長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル助

役ヲ以テ委員長トス

委員ハ市會ニ於テ之ヲ選舉シ其ノ組織任期等ニ關スル事項ハ市會ノ議決

ヲ經テ之ヲ定ム

第七十九條 市吏員ハ任期滿限ノ後再選セララルコトヲ得

市吏員ハ別段ノ規程又ハ規約ナルモノヲ除ク外隨時解職スルコトヲ得

第二款 市吏員ノ職務權限及處務規程

第八十三條 市長ハ市ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

市長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 市會及市參事會ノ議事ヲ準備シ茲其ノ議決ヲ執行スル事
二 市有財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

三 市ノ權利ヲ保護スル事

四 市ノ歳入ヲ管理シ歳入出算其ノ他市會若クハ市參事會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事

五 市ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

六 外部ニ對シテ市ヲ代表シ市ノ名義ヲ以テ其ノ訴訟訴訟並和解ニ關與シ又ハ他處若クハ個人ニ交渉スル事

七 法律命令又ハ市會若クハ市參事會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、加入金、市税及夫役現品ヲ賦課徴收スル事

八 其ノ他法律命令又ハ上司ノ指令ニ依リ市長ノ權限ニ屬スル事項

第八十條 市長ハ議案ヲ市會ニ提出スル前之ヲ市參事會ノ審査ニ付シ若

市參事會ト其ノ意見ヲ異ニスルトキハ市參事會ノ意見ヲ議案ニ添ヘ市會ニ提出スヘシ

第八十一條 市長ハ市吏員ヲ監督シ其ノ任免ニ係ル市吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責十圓以下ノ過怠金及解職トス

前項市長ノ懲戒處分ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間其ノ市ノ公職ニ選舉若クハ任命セラレコトヲ得ス

第八十二條 市會若クハ市參事會ノ議決若クハ選舉其ノ權限ヲ越ヘ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ市長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決若クハ選舉ヲ取消シ又ハ議決ニ付テハ再議ニ付シタル上仍其ノ議決ヲ改メサルトキ之ヲ取消スヘシ
前項取消處分ニ不服アル市會若クハ市參事會ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ

府縣參事會 裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得市長
ニ於テ其 府縣參事會ノ裁決ニ不服アルトキ亦同シ

市會若ハ市參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ市長ハ自己ノ意
見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ
議決ヲ改メサルトキハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ
前項府縣知事ノ處分ニ不服アル市會若ハ市參事會ハ內務大臣ニ訴願ス
ルコトヲ得

第八十四條 市會若ハ市參事會ニ於テ市ノ收支ニ關シ不適當ノ議決ヲ爲
シタルトキハ市長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ
示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ府縣知事ニ具狀シテ
指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ府縣知事ノ指揮ヲ
請フコトヲ得

前項府縣知事ノ處分ニ不服アル市會若ハ市參事會ハ內務大臣ニ訴願ス

ルコトヲ得

第八十五條 市會若ハ市參事會召集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ市長
ハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ
得第五十條第二項第六十八條ノ場合ニ於テ全會議ヲ開クコト能ハサル
トキ亦同シ

市會若ハ市參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス又ハ議了セサ
ルトキハ前項ノ例ニ依ル
市參事會於決定スヘキ事件ニ關シテモ本條第一項第二項ノ例ニ依ル
此ノ場合ニ於テ市長ノ處分ニ不服アル者ハ各本條ノ規程ニ依リ訴願、訴
訟ヲ提起スルコトヲ得

本條第十項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ市會若ハ市參事會ニ報告ス
ヘシ

第八十六條 市參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要スル場合ニ

於テ市參事會成立セサルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ
市長ハ之ヲ專決處分シ次回ノ會議ニ於テ其ノ處分ヲ報告スヘシ

第九十七條 市長ハ法律命令 ^{（定例ノ所ニ依リテ）} 事務ヲ管掌ス

司法警察補助官タルノ職務及法律命令ニ依テ其ノ管理ニ屬スル地方

警察ノ事務

工 浦役場ノ事務 ^{（其ノ他）}

五 國ノ行政並府縣ノ行政ニシテ其ノ市ニ屬スル事務ヲ管掌ス

前項ノ事務ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ助役ニ分掌セシムルコトヲ得

本條ニ掲載スル事務ヲ執行スル爲ニ要スル費用ハ市ノ負擔トス

第九十八條 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコト

ヲ得

第九十九條 助役ハ市長ノ事務ヲ補助ス

市長ハ市會ノ同意ヲ得テ助役ヲシテ市行政事務ノ一部ヲ分掌セシムルコ

○ 市長ハ市會ノ同意ヲ得テ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

市長ハ市會ノ同意ヲ得テ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

トヲ得

助役ハ市長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數名アルトキハ上席者之ヲ代理

スヘシ

第九十條 收入役ハ市ノ出納及會計ノ事務ヲ掌ル

收入役代理者ハ收入役ノ事務ヲ補助ス

市長ハ收入役及市會ノ同意ヲ得テ收入役代理者ヲシテ收入役ノ事務ノ一

部ヲ分掌セシムルコトヲ得

收入役代理者ハ收入役故障アルトキ之ヲ代理ス收入役代理者數名アルト

キハ上席者之ヲ代理スヘシ

市長ハ市參事會ノ議決ヲ經テ收入役及收入役代理者ノ身元保證ヲ徵ス

第九十一條 書記其ノ他ノ吏員ハ市長ノ指揮命令ヲ受ケ職務ニ従事ス

第九十二條 區長ハ市長ノ指揮命令ヲ受ケ市長ノ事務ニシテ區ニ屬スルモ

ノ事務ヲ掌ル

區長ハ市長ノ同意ヲ得テ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

區長ハ市長ノ同意ヲ得テ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

退付保費金

第百八條 有給吏員ノ退隱料及遺族扶助料ノ給與ニ關シテ異議アルトキハ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得
 前項ノ異議ハ市參事會ニ付決定ス其ノ市參事會ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 第百九條 給料、旅費、退隱料、遺族扶助料、報酬、實費辨償其ノ他諸給與ハ市ノ負擔トス

第五章 市ノ財務

第一款 市有財産營造物及市税

第百條 市ハ不動産又ハ元額ヲ費消スル豫定ナキ積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スルノ義務アリ
 臨時ニ收入シタル金穀等ハ基本財産ニ加入スヘシ但シ寄附金穀等ニシテ寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

積立

市ハ特定ノ目的ノ爲ニ特別ノ基本財産若シテ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前項基本財産ニ加入スルヲ得ヘキ收入ノ全部若シテ一部ヲ特別ノ基本財産若シテ積立金穀等ニ加入スルコトヲ得
 第百一條 市有財産ハ其ノ收益ヲ以テ市ノ收入ト爲ス爲ニ之ヲ管理スルモノトス但シ市ノ直接ノ公用若クハ市住民ノ直接ノ共用ニ供シタル市有財産ニシテ其ノ公用若クハ共用ニ妨ケアルトキ及特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アル場合ニ於テ其ノ權利ニ抵觸スルトキハ此ノ限ニ在ラス
 第百二條 舊來ノ慣行ニ依リ特ニ其ノ市有財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ舊慣ニ依ル
 第百三條 市有財産又ハ營造物ヲ特ニ使用スル權利ヲ得ントスル者アルトキハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ許可スルコトヲ得但シ市ノ直接公用ニ供シタルモノニシテ其ノ公用ニ妨ケアルトキ及特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ使用ニ關シテハ使用料若クハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得

第百四條 市ハ必要ナル場合ニ於テハ市會ノ議決ヲ經テ第百三條第百三條ノ使用權ヲ取上ケ若クハ制限シ又ハ第百三條ノ使用權ヲ有スル者ヨリ使用料ヲ徵收スルコトヲ得但シ特ニ民法上使用ノ權利ヲ有スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百五條 第百三條第百三條ノ使用權ヲ有スル者ニハ使用ノ多寡ニ準シテ其ノ市有財產又ハ營造物ニ係ル必要ナル費用ヲ分擔セシムルコトヲ得

第百六條 市ハ市有財產若クハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收シ又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第百七條 市有財產又ハ營造物ノ使用方法ニ關スル市規則ニハ過料二圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得其ノ他ハ第百十三條第二項ヲ適用ス

第百八條 市有財產ヨリ生ヌル收入ヲ以テ市ノ支出ニ充テ仍殘餘ヲ生シタ

ルキハ將來市稅ヲ徵收スル必要ナキコトヲ豫期シ得ヘキ場合ニ限リ之ヲ市住民ニ分配スルコトヲ得

第百九條 市有財產ノ賣却、貸與、又ハ市ノ工及物件調達ノ請負ハ公ノ入札ニ付スヘシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ又ハ入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ市會ノ承諾ヲ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ入札ヲ爲ストキハ市會ハ議員二名以上ヲシテ立會ハシムルコトヲ得

第百十條 市ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ市會ノ議決ヲ經テ國府縣郡市町村其ノ他公共團體若クハ一個人ノ事業ニ對シ寄附若クハ補助ヲ爲スコトヲ得

第百十一條 市ハ其ノ必要ナル支出及法律命令ニ依リ市ノ負擔ニ屬スル費用ヲ負擔スル義務ヲ負フ

前項ノ負擔ハ市稅其ノ他市ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第百十二條 市稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキ目左ノ如シ

一 國稅府縣稅ノ附加稅

二 直接若シハ間接ノ特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅又ハ府縣稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ市ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トス
特別稅ハ別ニ市限リ稅目ヲ起シテ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課徵收スルモノトス

第一百十三條 此ノ法律中別ニ規程アルモノヲ除ク外使用料、手數料、特別稅ニ關スル細則ハ市條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ條例ニハ過料二圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

過料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ市長之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一百十四條 三箇月以上市内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ週リ市稅ヲ納

ムル義務アルモノトス

第一百十五條 市内ニ住居ヲ構ヘス又ハ三箇月以上滞在スルコトナシト雖市内ニ於テ土地、家屋、物件ヲ所有シ若シハ使用シ又ハ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ市内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地、家屋、物件、營業若シハ其ノ所得ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル市稅ヲ納ムル義務アルモノトス其ノ法人タルトキ亦同シ但シ官業ハ此ノ限ニ在ラズ

第一百十六條 所得稅ノ附加稅ヲ賦課シ又ハ市於テ特別ニ所得稅ヲ賦課スルトキハ納稅者ノ市外ニ於テ所有シ若シハ使用スル土地、家屋、物件又ハ市外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

第百十七條 數市町村ニ涉リ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ且其ノ本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ營業稅ノ附加稅ヲ賦課スルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ本稅額ヲ各市町村ニ分割シテ其ノ一部分ニノミ課稅スヘシ

第百十八條 所得稅法第三條ニ掲グル所得ニ對シテハ市稅ヲ賦課スルコトヲ得ス
國府縣郡市町村其ノ他公共團體ノ直接ノ公用ニ供スル土地、家屋、物件並營業物ニ對シテハ國府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ市稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

社寺ノ用ニ供シ又ハ官立公立ノ學校病院ノ用ニ供シ又ハ官其ノ他公共ノ施設ニ係リ學藝、美術、慈善ノ用ニ供スル土地、家屋、物件並營業物ニ對シテハ社寺又ハ國府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ市稅ヲ賦課スルコトヲ得ス
土地、家屋、物件
國有ノ山林若クハ荒蕪地ニ對シテハ國ニ市稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

新開地及開墾地ハ市條例ヲ以テ年月ヲ限リ免稅スルコトヲ得
本條ノ外市稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從フ

皇族ニ係ル市稅ノ賦課ハ法律勅令ヲ以テ定ムルマテ現令ノ例ニ依ル
第百十九條 數個人ヲ利スル營業物ノ設置、維持、費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

市内ノ一部ヲ利スル營業物ノ設置、維持、費用ハ其ノ部内ニ於テ市稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得但シ其ノ一部ノ收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ
第百二十條 市内ノ一部ニ對シテ利益アル事業ニ關シテハ其ノ利益ノ厚薄ニ準シ該部分ノ負擔ヲ増課スルコトヲ得
第百二十一條 市稅ノ納稅義務ノ起リタル翌月初日免稅理由生シタ

月終リテ月割ヲ以テ之ヲ徵收スヘシ但シ日割ヲ以テ徵收スルモノ及
モノハ終リテ月割ノ外勅令ノ定ムル所ニ從フ

時、税ハ此ノ限ニ在ラス

納税義務消滅シ又ハ變更スルトキハ納税者ヨリ之ヲ市長ニ届出ツヘシ其ノ届出ヲ爲シタル月ノ終マテハ仍從前ノ税ヲ徴收スルコトヲ得

土地、家屋其ノ他物件ヲ目的トシ納期ヲ定メテ一定ノ額ヲ賦課スル市税ハ其ノ納期ニ於テ納税義務ヲ負フ者其ノ額ヲ納ムヘシ

市税ノ前納ニ係ルモノハ徴收後納税義務消滅シ變更シ又ハ移轉シタル場合ト雖之ヲ還付セス但シ納税義務ノ移轉ヲ受ケタル者ハ其ノ前納期限ノ終マテ納税セサルモノトス

第二百二十二條 市ハ其ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ納税義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外直接市税ヲ準率ト爲シ若直接市税ヲ賦課セサル市ニ於テハ直接國税ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ

夫役ヲ課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第二百二十三條 市長ハ納税者中特別ノ事情アル者ニ對シ市參事會ノ議決ヲ經テ會計年度内ニ限リ納税延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合又ハ市税ノ減免ヲ要スルトキハ市會ノ議決ヲ經ヘシ

第二百二十四條 市税使用料、手数料、加入金、夫役現品ニ代ル金額、過料其ノ他市ノ本法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ市長ハ國税滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

本條ニ記載スル徴收金ノ追徴、還付ノ期滿免除及先取特權ニ付テハ國税ニ關スル例ヲ適用ス

第二百二十五條 市税ノ賦課ヲ受ケタル者ニシテ其ノ課目課額ニ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付後三箇月以内ニ市長ニ異議ヲ申立ルコト

本条市税ノ知事ノ不服見者(后)ノ
市會ニ申立ルコトヲ得又夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第二百二十四條 市税使用料、手数料、加入金、夫役現品ニ代ル金額、過料其ノ他市ノ本法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ市長ハ國税滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

本條ニ記載スル徴收金ノ追徴、還付ノ期滿免除及先取特權ニ付テハ國税ニ關スル例ヲ適用ス

第二百二十五條 市税ノ賦課ヲ受ケタル者ニシテ其ノ課目課額ニ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付後三箇月以内ニ市長ニ異議ヲ申立ルコト

ヲ得

市有財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ市長ニ申立
ツルコトヲ得

本條ノ異議ハ市參事會ニテ決定ス其ノ市參事會ノ決定ニ不服アル者ハ府
縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出
訴スルコトヲ得

第三百二十六條 市ハ其ノ負債ヲ償還スル爲又ハ市ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ
支出ヲ要スル爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り市會ノ議決ヲ經
テ市債ヲ起スコトヲ得

市債ヲ起スニ付市會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ定率
及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

市債償還ノ初期ハ起債ノ時ヨリ三年以内ト爲シ年年ノ償還歩合ヲ定テ起
債ノ時ヨリ三十年以内ニ還了スルヲ以テ常例トス

使用料、手数料ノ坐收ニ交レテ立
前取項ノ爲ニ依ル
市會ノ議決ヲ經テ起スルコトヲ得

豫算内ノ支出ヲ爲ス爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其ノ年度ノ收入ヲ以
テ償還スヘキモノハ本條ニ依ル限ニ在ラス但シ市參事會ノ議決ヲ經ヘシ

第二款 市ノ歳入出豫算及決算

第三百二十七條 市長ハ每會計年度歳入出豫算ヲ調製シ少クトモ年度ニ箇月
前ニ市會ノ議決ヲ經ヘシ但シ市ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ市會ニ提出スルトキハ市長ハ併セテ市ノ事務報告書及財産表ヲ提
出スヘシ

第三百二十八條 市長ハ市會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若ハ更正ヲ爲ス
コトヲ得

第三百二十九條 市ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘ
キモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ市會ノ議決ヲ經テ
其ノ年期间各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第三百三十條 豫算外ノ支出若ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ

設クヘシ

豫備費ノ支出ハ市参事會ノ議決ヲ經ヘシ但シ市會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第三百一十條 豫算調製ノ式並費目流用ニ關スル規程ハ内務大臣之ヲ定ム

第三百一十一條 豫算ハ其議決ヲ經タル後直ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ並其

ノ要領ヲ告示スヘシ

第三百一十二條 市ハ市會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第三百一十三條 市會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ市長ヨリ其ノ謄本ヲ收

入役ニ交付スヘシ其ノ豫算中監督官廳ノ許可ヲ受クヘキ事項アルトキハ

先ツ其ノ許可ヲ受クヘシ

收入役ハ市長又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

又收入役ハ市長ノ命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナキカ又ハ豫備費支出及費

目流用ノ規程ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規程ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

第九十七條第三項第四項ノ場合ニ於テハ本條ノ規程ヲ收入役代理者ニ適用

ス

第三百十五條 市ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ及毎年少クトモ一回臨

時検査ヲ爲スヘシ

検査ハ市長之ヲ爲シ臨時検査ニハ市参事會ニ於テ選舉シタル名譽職参事

會員ノ立會ヲ要ス

第三百十六條 市ノ出納閉鎖ハ會計年度後三箇月ヲ以テ期限トス

決算ハ出納閉鎖期限後一箇月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ市長

ニ提出スヘシ市長ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シテ次ノ通常豫算會議ニ於テ之

ヲ市會ニ認定ト付スヘシ

決算ハ市會ニ認定ト付スル前市参事會ノ審査ニ付スヘシ若市長ト市参

事會ト意見ヲ異ニスルトキハ市長ハ市参事會ノ意見ヲ決算ニ添ヘ市會ニ

合ヲ設クルコトヲ得

第四百十三條 前條ニ依リ設置シタル市町村組合ニシテ其ノ組合市町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲サントスルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ組合市町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第四百十四條 市町村組合ヲ設クルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ定メ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ組合規約ノ變更ヲ要スルトキ亦同シ

第四百十五條 第二項及第四百十三條第二項ノ場合ニ於テ前項ノ協議整ハサルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第四百十五條 組合規約ニ定ムヘキ事項左ノ如シ

- 一 組合ヲ組織スル市町村

市町村組合ニシテ其ノ組合市町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲サントスルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
 公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ組合市町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得
 第四百十四條 市町村組合ヲ設クルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ定メ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ組合規約ノ變更ヲ要スルトキ亦同シ
 第四百十五條 第二項及第四百十三條第二項ノ場合ニ於テ前項ノ協議整ハサルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム
 第四百十五條 組合規約ニ定ムヘキ事項左ノ如シ

二 組合ノ共同事務

三 組合役場ノ位置

四 組合會ノ組織

五 組合事務ノ管理方法

六 組合費用ノ支辨方法

第四百十六條 市町村組合ニハ其ノ組合規約ヲ以テ定メタルモノヲ除ク外市ニ關スル此ノ法律ノ規程ヲ適用ス但シ命令ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四百十七條 市町村組合ハ關係市町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ解クコトヲ得ス

公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ市町村組合ヲ解クコトヲ得

第八章 市行政ノ監督

第百四十八條 市行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第百四十九條 此ノ法律中別段ノ規程アル場合ヲ除ク外市行政ニ關スル府

縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

此ノ法律ニ規定スル異議若ハ訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ之ヲ提起ス

ヘシ但シ此ノ法律中別二期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

此ノ法律ニ規定スル行政訴訟ハ決定書若ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル翌日ヨリ起算シ二十一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

異議訴願及訴訟ヲ提起スル者アルモ此ノ法律中別段ノ規程アルモノヲ除

此ノ法律ニ規定スル異議若ハ訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ之ヲ提起スヘシ但シ此ノ法律中別二期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

ク外處分ノ執行ヲ停止セス但シ行政廳及行政裁判所ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ願ニ依リ必要ト認ムルトキハ處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第百五十條 監督官廳ハ市行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其ノ事務錯亂滯滞セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ竝實地ニ就テ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閱スルノ權ヲ有ス

監督官廳ハ市行政ヲ監督スル爲キ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス

第百五十一條 監督官廳ハ必要アル場合ニ於テハ三日以内市會ノ中止ヲ命スルコトヲ得

第百五十二條 市會ノ解散ハ内務大臣ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

市會解散ノ場合ニ於テハ名譽職參事會員モ亦解職スルモノトス

第六十六
第五百五十一條 市長ニ於テ法律命令又ハ上司ノ指令ニ依リ委任セラルル官吏、吏員ニ於テ

事項ヲ施行セサルトキハ監督官廳又ハ其ノ委任シタル官吏、吏員ニ於テ之ヲ施行スルコトヲ得但シ其ノ施行ニ要スル費用ハ市ノ負擔トス

第五百五十四條 市會ニ於テ市長候補者ヲ推薦セス又ハ其ノ再推薦ニシテ仍

裁可ヲ得サルトキハ連署ヲ推薦セシメ裁可ヲ得ルニ至ルマテノ間内務大臣

ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ市長ノ職務ヲ管掌セシムルコト

ヲ得但シ官吏ヲ派遣シタル場合ニ於テハ其ノ俸給旅費等ハ市費ヲ以テ辨

償セシムヘシ

臨時代理者ノ給料額、旅費額等ハ内務大臣之ヲ定ム

第五百五十五條 市會ニ於テ助役、收入役及收入役代理者ヲ選舉セラルトキ

又ハ其ノ再選舉ニシテ仍認可ヲ得サルトキ又ハ前ニ認可ヲ得サル者ヲ再

ヒ選舉シタルトキハ連署ヲ行ヒ認可ヲ得ルニ至ルマテノ間府縣知事

ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ助役、收入役及收入役代理者ノ

職務ヲ管掌セシムルコトヲ得但シ官吏ヲ派遣シタル場合ニ於テハ前條第一項但書ノ規程ヲ適用ス

臨時代理者ノ給料額、旅費額等ハ府縣知事之ヲ定ム

第五百五十六條 市長、助役共ニ故障アルトキ又ハ收入役、收入役代理者共ニ

故障アルトキハ監督官廳ハ前條ノ規程ヲ準用スルコトヲ得

第五百五十七條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 市條例ヲ設定スル事

二 學藝、美術、關シ又ハ歴史上貴重ナル物件ヲ移轉、交換、讓渡、質入、書

入若シハ大ナル變更ヲ爲ス事

三 使用料、手数料、加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

第五百五十八條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコト

ヲ要ス

一 市債ヲ起シ並起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若シハ變

更スル事但シ第百二十六條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス
 二 特別税ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
 三 地租十分ノ三其ノ他直接國税十分ノ五ヲ超過スル附加税ヲ賦課スル事
 但シ此等ノ中多ク賦課スルモノハ在ラス

四 間接國税ノ附加税ヲ賦課スル事

五 國庫ニ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事

第百二十九條 左ニ掲クル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 市規則ヲ設定スル事

二 基本財産ノ處分ニ關スル事

三 特別基本財産及積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事

四 第百五條第一項ノ處分竝第百四條ニ依リ使用權ヲ取上ケ若クハ制限スル事

五 第百五條ニ依リ使用權ヲ有スル者ニ費用ヲ分擔セシムル事

此等ノ事ハ市ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中輕易ナル事
 其ノ中
 一 特別會計ヲ設クル事
 二 繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事
 三 追ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百六十條 市ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中輕易ナル

六 市有不動産ノ賣却交換讓渡並賃入書入ヲ爲ス事

七 市有財産ヨリ生ズル收入ヲ市住民ニ分配スル事

八 寄附若クハ補助ヲ爲ス事

九 各種ノ保證ヲ與フル事

十 均一ノ税率ニ據ラスシテ國稅府縣稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

十一 第百十九條ニ依リ數個人若クハ市内ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事但シ區會ノ議決ニ係ルモノハ此ノ限ニ在ラス

十二 第百二十條ニ依リ市内ノ一部ニ對シ費用ヲ増課スル事

十三 第百二十二條ノ準率ニ據ラスシテ夫役及現品ヲ賦課スル事但シ急

迫ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

十四 繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事

十五 特別會計ヲ設クル事

モノハ勅令ノ規程ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ府縣知事ニ委任スルコトヲ得
第六十條 府縣知事ハ市長助役、收入役、收入役代理者、委員、區長其ノ
他市吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓
以下ノ過怠金及解職トス

市長ノ解職ハ内務大臣勅裁ヲ經テ之ヲ行フ

府縣知事ノ行ヒタル懲戒處分ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ
得

監督官廳ハ市吏員ノ懲戒處分ヲ行フ。前其ノ吏員ノ停職ヲ命シ茲給料ヲ
支給ヲ停止スルコトヲ得

第八十條末項ノ規程ハ本條ニ依リ懲戒解職ヲ受ケタル者ニモ亦之ヲ適
用ス

第六十條 收入役及收入役代理者其ノ職權ヲ盡キス又ハ權限ヲ越ヘタ
ルハ市長ハ其ノ懲戒處分ハ市長ハ市會
ノ議決ヲ經テ賠償ヲ命スルコトヲ得

前項賠償責任ノ有無並賠償額ニ付不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ

府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
本條賠償金ヲ納メサルトキハ第二百二十四條ノ例ニ依リ處分ス

第九章 附則

第六十三條 此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

第六十四條 此ノ法律ノ規程ニ依リ府縣知事、府縣參事會ノ職權ニ屬ス
ル事件ニシテ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ内
務大臣ニ於テ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事及府縣參事會ヲ指定スヘシ

第六十五條 此ノ法律ニ定ムル郡參事會ノ職務ハ郡制ヲ施行シ郡參事會
成立スルニ至ルマテノ間郡長之ヲ行ヒ府縣參事會ノ職務ハ府縣制ヲ施行

シ府縣參事會成立スルニ至ルマテノ間府縣知事之ヲ行フ

第六十六條 此ノ法律施行ノ際市參事會ノ職務ハ其ノ成立ニ至ルマテノ

Handwritten notes in red ink at the top of the page, including the characters '市會' (City Council) and '職權' (Authority).

間市長之ヲ行フ

第六十七條 *オ十三條ニ依リ標準ト為ス人口ハ毎年四月一日*
此ノ法律中ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依リ現役軍
人及在監人ヲ除キタル數ヲ行フ

第六十八條 此ノ法律ニ於テ直接税トスヘキモノハ内務大臣及大藏大臣
之ヲ告示ス

第六十九條 此ノ法律ニ抵觸スル從前~~ノ~~成規ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之
ヲ廢止ス

第七十條 此ノ法律ニ規定スルモノヲ除ク外市行政ニ關シ必要ノ事項
ハ命令ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第七十一條 此ノ法律ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム